



ロータリーの未来は  
あなたの手の中に

地区テーマ  
地域にやさしさを  
ロータリーに活力を

本クラブテーマ  
平常心でロータリーを

国際ロータリー第2800地区

## 鶴岡ロータリークラブ

第2488回(本年度第28回)例会 2010.2.16

● 例会日／毎週火曜日(12:30~13:30)

● 例会場／東京第一ホテル鶴岡

鶴岡市錦町 2-10 Tel. 0235-24-7611

クラブホームページアドレス <http://www.tsuruokarc.org/>

### 会長報告

富樫 松夫

- 2月 9日 2010年～11年塙原ガバナー年度の第2回地区大会実行委員会がガバナーエレクト事務所に11名の委員の方が集まって打合せが有りました。塙原年度の地区目標も決まりつつ、いよいよ本格的な活動が開始されてきたと思います。皆さんの協力宜しくお願ひ致します。
- 2月 12日 塙原ガバナーエレクトの事業であるPETSの第1回打合せ会がガバナーエレクト事務所で5名の方が集まって打合せを致しました。いよいよ次年度の活動も動き出しました。09～10年余す処、4ヶ月ちょっとになってきました。次年度に無事引継ぎが出来る様、頑張ってまいりたいと思いますので宜しくご協力の程お願ひ致します。
- 2月 20日 インフォーマルミーティングがロータリー情報、プログラム、親睦・姉妹友好各委員会合同で開催されます。皆さん御誘いの上、参加宜しくお願ひ致します。締切は今日の例会終了後までとなっております。

### 水ビジネスについて

今日のショートスピーチは水ビジネスと複合発電の話をしてみたいと思います。人間の生活や経済活動に欠かせない「水」を供給するビジネス。上下水道事業の設計・構築・維持管理・運営をはじめ、海水淡水化技術や高度処理技術、下水排水処理技術など、その裾野は幅広い。また、水力発電や農業用水を通じ、エネルギーや食料といったビジネス分野にも密接に関連している。世界の水需要は、途上国の経済発展や人口増で急速に増加しつつあり、水インフラを安価で低コストに構築・運営することは喫緊

の課題。一方では先進国でも、行政コスト削減のために水道民営化の動きが広まっている。また、中東諸国などの水資源に恵まれない地域では、海水の淡水化などのニーズも根強い。水ビジネスは、これらの幅広い分野を包括するビジネスであり、2025年には100兆円規模の産業になるとの説もある。

### 複合発電とは

太陽電池や風力発電機、水力発電機などの異なる種類の発電機を組み合わせた発電システムのこと。「ハイブリッド発電システム」とも呼ぶ。現在は、風力発電と太陽電池の組み合わせ例が最も多く、特に実用目的の小規模な発電システムでは、風力発電機単独で用いられることはかえって稀で、太陽電池と組み合わせた複合発電システムが採用されるケースが多い。メリットは、特性の異なる発電機を複合利用することで、偏った発電特性を平均化できること。日射量が多く得られる春から秋にかけては太陽光発電が活躍し、日射量が不足しがちで平均風速が大きくなる冬季間は風力発電が活躍するなど、相互の負特性を補い合うことができる。もちろん、自然エネルギーを利用した発電システムであるため、環境問題に大きく寄与するのは言うまでもない。

### 幹事報告

阿部 純次

#### ○ガバナー事務所

- PETS(会長エレクト研修セミナー)のご案内  
日時：3月13日(土)  
場所：東京第一ホテル鶴岡
- 次年度地区役員の方顔写真をお送りください。

#### ○庄内支庁環境課

グリーンコンシューマー育成講座の案内



### 2月は… 世界理解月間

#### 出席報告

会員数	41名
出席	27名
出席率	71.05%
前々回確定出席率	81.58%

■ R 会長/ジョン・ケニー ■ 地区ガバナー/佐藤豊彦 ■ 会長/富樫松夫  
■ 会長エレクト/佐藤孝子 ■ 副会長/青柳孝治 ■ 幹事/阿部純次 ■ 会報委員会/櫻野隆博・石田 雄

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235)28-3375 FAX (0235)28-3376 E-mail:tsuruoka08@rid2800.jp

## 会員スピーチ 「作物と温暖化の影響」

有機逸品クラブ代表 青柳 孝治君

2月15日朝6時すぎのNHKのラジオを聞いていたら、北海道網走の流氷観測所の人が今年の流氷は例年の半分位しかない。明治の中頃から観測している温度も、1℃高くなっている。温暖化の影響があるのかなあ?という話をしていました。

昨年の始め頃に、地球温暖化で日本の野菜や果物の栽培に適した地域が移動し、産地勢力図に変化が起きていると書いてありました。

みかん——主産地は愛媛、和歌山、静岡と移って来ており栽培に適した北限は神奈川、千葉だと言われていたが、2007年から新潟県の佐渡から出荷されて來たそうです。

マンゴー——最近は宮崎が有名になりましたが、埼玉県でも栽培の動きが出て来ている。(宮崎マンゴーもハウス栽培が多い)

リンゴ——南限に近い長野が減らして来て青森が伸びている。夜の気温が下がらないと色付が悪いということで、品種への選定に苦労しているそうです。

サクランボ——1月8日の山新のコラム&テレビに天童の促成栽培のことが出ていました。1粒1,500円、1kg20万円と出ています。東京に近い山梨が大変がんばっているようですが、最近は北海道で面積を増やしているそうです。

柿——柿も北海道に移りつつあるようです。柿は10月末から11月に掛けて収穫し出荷されます。この地域の柿は収穫が遅いものですから冷凍保存して1月頃出荷します。富山県では促成栽培で12月に出荷しているようです。

野菜は何時でも何もある時代で、沖縄から北海道までビニールハウスの促成栽培が多い。旬がなくなっている。

ゴーヤ——沖縄、鹿児島から最近は東北南部山形、



宮城、福島まで北上している。秋田の産直施設にも地元産が出ている。本場沖縄産は値段が高いし、今の時期は1本400~500位する。(私も20年前から栽培しています)

さつまいも——九州から関東が主産地となっています。川越近辺がすごいし、徳島の金時いももすごい。大変美味しいです。栽培地の土地に合わせた苗を作っている。又、徳島の方が当地に来られ土作りから指導してくれるそうです。いいものはなかなか簡単には出来ないということでしょう。最近は北海道の面積が拡大している。

枝豆(だだちゃ豆)——南限は関東までと山大の先生がいっていました。農協の組合長が1千町歩まで作付面積を増やすとあるイベントで話されていました。そうなると商品価値があるのが80%で残りは商品価値の無いものです。

それを何とか加工できないかと試行錯誤しましたが難しいようです。丹波の黒豆とだだちゃ豆を合わせて、京都で夏のビールに合わせて販売できるように開発しましたし、北海道でも生産しています。

私も家庭菜園を行っています。約30坪位の畑ですが、昨年は枝豆がすごくおいしく出来ました。(庄内2号、庄内3号)。栽培しているものは、ゴーヤ、枝豆、菊、大根、カブ、茄子、ピーマン、パプリカ、しおとう、唐がらし、変わったものとして、空心菜(エンサイ)、アイスプラント、等収穫しました。

地球温暖化が気になりますが、旬の物は旬で食べたいものだなと考えております。

## 香員会報告

出席委員会

## メイクアップされた方

青柳 孝治 藤川 享胤 富樫 松夫 樋渡美智子

石田 雄 榎野 隆博 真島 吉也 本間喜美子

越智 茂昭 佐藤 孝子 田中 豊 小林 健郎

## •スマイル

富樫松夫君 青柳さん、スピーチありがとうございました。

佐藤孝子君 青柳さん家庭菜園のお話ありがとうございました。アイスプラント教えてください。